

本校における消費者教育の取組

愛知県立中川商業高等学校

教諭 田中 由紀子

1 はじめに

本校は名古屋市西部に位置する商業高校で、1年生は全科とし、2年生からは総合ビジネス科、情報処理科、国際ビジネス科の3学科に分かれる専門高校である。

商業科では、消費者とは逆の商品を提供する側の立場での学習が中心となる。そのため「消費者の立場で考える」という機会はほとんどないのが現状である。しかしながら、消費者の購買意識の把握や消費者保護の観点なくして商売が成り立たないのも現実である。今回、消費者教育研究校の指定を受けたことをきっかけに、消費者として知っておくべき知識を学び、生徒自らが「よりよき消費活動ができる消費者」となれるよう、授業を計画・実践した。

2 実践例

(1) 授業における取組

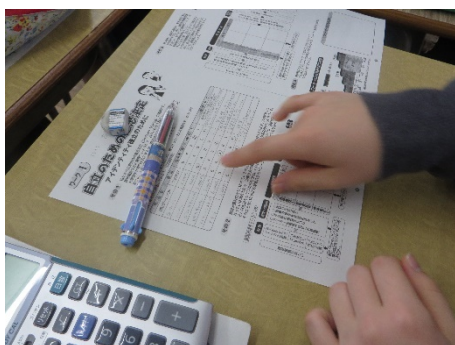
(ア) 「ビジネス基礎」(1年：全科：3単位)

・SMBCコンシューマーファイナンス増田様に来校していただき、「ライフプラン」の作成方法を学習した。「ライフプラン」を作成することで、各自の生き方について考えるきっかけとした。生活するために必要な人・モノ・お金を明確にすることで、それを得るためには自分がどのように行動するべきなのかを考え、消費者として様々な意思決定をしていくことの必要性を理解した。



参加型の講演会

・「これであなたもひとり立ち(金融広報中央委員会)」を補助教材として、「自立のための意思決定」を利用し、各自の経済活動と意思決定とのつながりについて、個人で考えた後、グループ内で発表し、他者の問題点への改善策を話し合った。よりよき消費活動をするための、意思決定の重要性に気づくことができた。



ワークシートへ記入



グループで話し合い

(ウ)「マーケティング」(2年:総合ビジネス科:3単位)

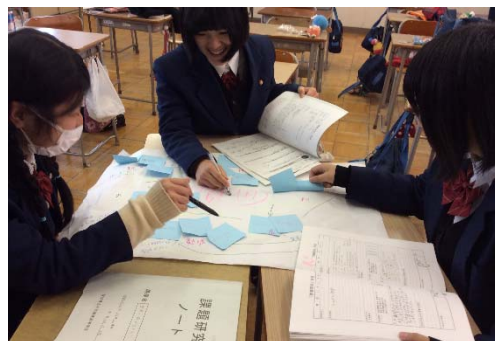
・消費者庁HP「消費者教育ポータルサイト」より「公正で自由な競争を目指して(動画)」を利用した。これまでの学習では「法律に則って活動をしなければならない」という企業側の立場で考えることが中心であった。しかし、消費者の自由な購買活動を守ることや消費者が不利益を被らないために様々な法律があり、企業はそれを遵守していることを理解することができた。同じ事象を企業側・消費者側からと異なる立場で考えることができ、相互理解の重要性を感じることもできた。



消費者庁HP「消費者教育ポータルサイト」より

(エ)「課題研究(世界へ飛び出そう講座)」(3年:国際ビジネス科:2単位)

・『世界から貧しさをなくす30の方法』合同出版を補助教材として利用し、「フェアトレード」について学習した。途上国で生産された商品が安い価格で販売され、その安さを生み出すために、途上国の労働者に正当な対価が支払われない事態が起きていることを知り、消費者である自分に何ができるかをグループで話し合い、全体で共有した。また、今の自分が「やれる→できる→がんばること」を自分自身の状況を3段階で認識し、行動に移していくことを発表した。



グループで意見をまとめる

(2) 本校の特色ある取組

本校では4年前より「キッズビジネスタウン」を企画・運営している。「キッズビジネスタウン」は「子どもたちがつくる、子どもたちの街」をテーマに、小学生の児童が市民となり、みんなで働き・学び・遊ぶことで、ともに協力しながら街を運営し、社会の仕組みを学び、子どもたちのキャリア意識の醸成に役立てることを目的としている。就職から労働、消費までの一連の流れを体験させる金融教育としての意味も持つ。また、商業科で学ぶ高校生が催事の企画・運営を通して日ごろの学習内容を活かす取組でもあ

る。



小学生は市民となり市民証を受け取る



宅配業者



喫茶店



自動車整備士

3 まとめ

今回この研究を実践するにあたり、消費者教育に関する多くの研修に参加する機会を頂いた。その中で、「消費者は本当に自由に買い物をしているのか?」「自由に買い物をしているつもりでも、本当は見えない糸で操られているのではないか?」という問いかけがあった。とても衝撃を受けた。私たちは日々消費活動を繰り返している。そのため日常の買い物に疑問を持たず、そこに商品があることが当たり前という生活を送っている。しかし、そこに「クリティカルシンキング（批判的意識）」を持ち、本当にそれでいいのか?大丈夫か?という視点を常に持つことで「騙されない消費者=賢い消費者」に近づくことに気づくことができた。この視点を消費者がきちんと持つことで、公正で持続可能な社会の実現にも近づき、よりよい社会を形成することができるであろう。そのためにも、日頃の学習活動に消費者教育の観点を取り入れて実践することの必要性を強く感じた。今回の研究を通して、消費者教育に関わる教材の豊富さにも驚かされた。これらを存分に活用し、今後も授業改善に努めていきたい。